



くりはら 市議会だより

第63号

令和2年1月31日



特集 議員2減の24人 P2

議会報告会 市民から132件の声 P4

補正 台風19号 稲わら処理費を助成 P7

視察報告 先進地に学ぶ P10

一般質問 稲わら処理など17人登壇 P12

「私もひとこと」

さいのみょう じゅんこ すずき のりあき
再名生 順子さん(鶯沢)・鈴木 徳昭さん(金成)

P22

「合唱部 クリスマス会」

(岩ヶ崎高等学校 提供)

2減の24人

議員発議で定数減 特別委の調査結果を可決

これまでの議会のあり方について、総合的に調査・研究を行うため、議長を除く議員25人（その後2人欠員）で構成する「栗原市議会のあり方調査特別委員会」（以下、特別委員会）を平成29年9月定例議会において設置しました。
特別委員会は3分科会で構成し、議員定数のあり方は「議員定数・ICT化等分科会」で7回に及ぶ調査を実施しましたが結論に至らず、特別委員会での採決の結果、「2人減」を賛成多数で決定しました。
12月定例議会では、議員定数「2人減」とする条例を議員発議し、賛成多数で原案どおり可決しました。
施行は次回の選挙からとなります。

議員定数の 移り変わりの

栗原市は平成17年4月1日、10町村が合併して誕生しました。合併直後の議員定数は「合併特例法」により旧町村ごとに市議会議員の選挙を実施し、45人でスタートしました。

4年の任期を終えた平成21年4月の選挙から、栗原市域が1つの選挙区となり議会議員の定数は30人になりました。

平成21年9月の定例議会において、議会改革と議会活動の活性化を図ることを目的に「議会改革調査特別委員会」を設置し、議員定数の調査・研究を行った結果、平成24年2月の定例議会で「人口減少と今後の厳しい財政状況」を考え、議員定数を「30人」から4人減の「26人」に決めました。
平成29年4月は、26人のままで選挙が実施され、現在に至っています。
(下の表参照)

年月	項目	議員定数(人)	市の人口(人)
平成17年4月		45	82,588
平成21年4月		30	78,250
平成25年4月		26	74,414
平成29年4月		26	70,000
令和 3年4月		24	※ 64,270

※令和2年4月1日の推計です。

議員の採決表(発議第6号 栗原市議会議員定数条例の一部を改正する条例について)

議員氏名 議案番号	議決結果	採 決 結 果																									
		佐藤 庄喜	小野 久一	澤邊 幸浩	佐藤 千昭	佐藤 範男	鹿野 芳幸	高橋 勝男	高橋 義雄	五十嵐 勇	石川 正運	高橋 涉	三塚 東	沼倉 猛	高橋 将	佐藤 悟	三浦 善浩	菅原 勇喜	佐藤 文男	相馬 勝義	濁沼 一孝	佐藤 勇	佐々木嘉郎	阿部 貞光	佐藤 久義		
発議第6号	可決	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	反	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-

※ 「賛」⇒賛成した議員、「反」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席、「-」⇒議長のため表決に加わらない



議場には緊張感が漂う

ピックアップ 議員

分科会

議員定数の結論でず

特別委員会の議員定数を調査した分科会での中間報告は次のとおりです。（主要な旨）

①現状維持とする理由

議会には、政策立案や監視機能を効果的に発揮することが求められ、広い面積の栗原市では地域の様々な意見の代弁者が必要とされている。議員の定数を減らせば、小さい地域からの代表が出にくくなるので、議員定数は安易に削減すべきではない。

②削減する理由

市域の面積の違いなど単

純に比較できない点はあるが、人口が6万人から7万人の人口規模が似ている県内の市と比較すると、本市の議員定数は2人から8人多い状況になっている。

「4人削減」の理由

現在の3常任委員会の体制を維持し運営していくためには、1常任委員会あたり最低7人が必要であり、議長を加え22人とする。

「2人削減」の理由

これまでの議会機能を維持し、低下をさせないためには、慎重かつ段階的な削減が必要である。

特別委

議員定数「2人減」を決定

議員全員（議長を除く）で構成する特別委員会では議員の定数を「現状維持」「2人減」、「3人減」とする意見があり、採決した結果、「2人減」を賛

成多数で決定しました。

12月定例議会において、議員定数「2人減」の条例が議員発議により提案され賛成17、反対6の賛成多数で可決しました。

本会議

議員定数を2人削減する議案に対して、賛成・反対の意見がありました。採決の結果は2ページのとおりです。

討

論

反対

佐藤 悟 議員

旧10町村が合併し、面積は805平方キロメートルと県内最大、人口は6万7829人、高齢化率37・8%である。福祉の充実、地域活性化は喫緊の課題で議会からの提言が待たれる。定数削減は多様な市民の声を代表する議会の批判・監視機能の低下につながる反対である。

反対

佐藤 文男 議員

各地域、各世代からの声を代弁する議員、さらには現在1人もいない女性議員の誕生が求められている時議員になる敷居を自ら高くする必要はない。議会は住民の声を自治体に反映する住民の代表機関だ。定数削減は結果として自治体を住民から遠ざけてしまう。

賛成

阿部 貞光 議員

議会は議案の審議・審査をすることが最大の仕事である。行財政が厳しくなっていく中、議会にはこれから志を持つてくる議員を育てる役割がある。定数削減により市議会が低迷したと言われぬよう、資質の向上を図り、これまで以上に市民から認められるような活動をしていくべきである。

特集

議会報告会に 132件の声

10月29日から10月31日までの間、市内10地区で議会報告会を開催しました。
議会報告会には112人が参加し、議員定数の削減など、132件に及ぶ意見や提言が寄せられました。
主な内容を掲載するとともに、市のホームページには報告書など、すべて公開しています。

議会報告会に参加した人数

地区	会場	人数(人)
築館	市民活動支援センター	13
若柳	若柳総合文化センター(ドリーム・パル)	13
栗駒	栗駒総合支所	15
高清水	高清水総合支所	12
一迫	一迫総合支所	10
瀬峰	瀬峰総合支所	6
鶯沢	鶯沢振興センター	12
金成	金成総合支所	9
志波姫	この花さくや姫プラザ	11
花山	花山石楠花センター	11
計		112

相馬議員の言動 議会全体の問題

問 10月27日付け新聞で、相馬勝義議員が体調不良の理由で行政視察を欠席して、栗原選挙区

答 県議選の候補者を応援していたという記事を見た。「税金を使って視察旅行に行くことはどうなの

か。」などと話しているようだ。この部分は、相馬勝義議員だけでなく、議会全体が疑われる問題ではないのか。

答 相馬勝義委員長は体調不良、選挙応援は事実であり、「視察旅行」発言は、旧志波姫町時代から、視察に名を借りた旅行ではないかとの住民の声を代弁したとの事である。

議会では行政視察に関するガイドラインを設け、ガイドラインに基づき、市が抱

人口に見合った 議員定数の減を

問 議員を2人減らして24人にするとの説明だが、議員の数は3000人当たり1人との考えもある。人口に見合った議員の数を考えると、4人減でもよいのではないか。

答 合併当初の人口は約8万人だったが、現在は約6万7000人になっている。

特別委員会では、他市と比較した結果、「現状のま

えている行政課題を根拠とする目的を持った視察を実施している。議会の議決を得ており、報告書も提出することになっている。

問 相馬勝義議員の新聞記事にかわり、議会はどう対応しているのか。また、総務委員は辞めないのか。

答 10月29日に総務委員会を開き、相馬勝義委員長から委員長の辞任の申し出があり、事情説明を求めた。その結果、委員長の辞任を認めた。

ま」、「2人減」、「4人減」、「6人減」の意見があったが、12月定例議会には「2人減」を提案する。「賛成」、「反対」の意見は出てくると思う。

問 人口の減少とともに議員定数は減ることになるのか。

答 将来のことは、次の選挙で当選した議員が検討すると考えている。

議長談

市民の信頼と開かれた議会

議会報告会において、一議員の個人的な言動に対して、多くの批判の意見が出されました。今回の言動は、議会としても大変残念であり、遺憾に思っています。

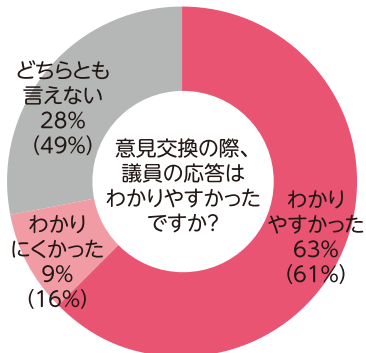
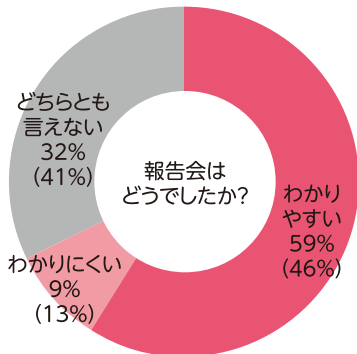
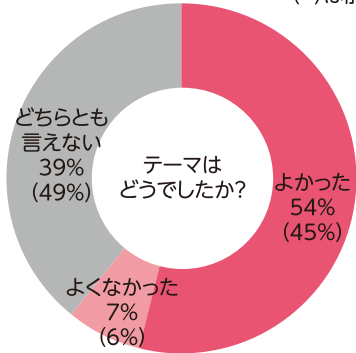
議員は、市民から選挙で選ばれた市民全体の代表者であり、代表者としてふさわしい活動をしなければなりません。また、市民から批判を受けたり、疑念を抱かれるような言動は慎まなければなりません。

議会としては、今後、このようなことがないよう、議員全員で改めて確認を行ってまいりました。今後も市民から信頼される開かれた議会を築くため、努力してまいります。

参加者アンケート

議会報告会に参加した皆さんからお聞きしました。

()は前年度



参加者の

声

糟川みわ子さん (栗駒)



参加者が少ないとはいえ、活発な意見が出た議会報告会でした。特に私は病院の存続問題に関心があり、若柳、栗駒病院が赤字問題で縮小や廃止になったら大変です。高齢化が進むなか、近くに入院設備の整った病院があると安心です。

患者の数が少ない理由などが、病院の縮小や廃止の原因かと思いますが、議会は病院の存続に向けて奮闘してほしいと思います。



市民の関心が高かった報告会

病院の再編・縮小 どう考えるのか

問 国が示した病院の再編、縮小との報道をどう考えるのか。

答 市内3病院の運営ならびに管理は第三者により、病院事業の健全

経営に関する計画が策定されていると聞いている。

地域医療は充実すべきであると思うが、健康寿命をいかに伸ばすかということも大切ではないか。

早くしてほしい 汚染牧草の処理

問 8000ベクレル以下の汚染牧草の処理を早くすべきと議会は市に求めているが、市も困っていると思う。議会はど

答 一関市大東町で、8000ベクレル以下

か視察したのか。また、堆肥化だけでない処分方法を議会も考えてほしい。

下の汚染牧草を一般廃棄物と混焼している焼却場を視察した。灰は管理型の安定処分場に埋め立て処分されている。

汚染牧草の処理に対する市の考えは、すき込みや焼却ではなく、堆肥化が基本であるので、議会は適切に対応したい。

入札制度は 総合評価も

問 議会が市に提言した「予定価格の事前公表制度」は、メリット・デメリットがあると思うがどうか。また、総合評価による落札方式が良いのではないか。

答 「予定価格の事前公表制度」は、談合や官製談合がなくなるが、

粗悪な工事の防止ができない恐れもある。総合評価の落札方式は、入札金額の外に技術力・施行実績・技術提案・地域貢献などを評価するために、事務方の負担が大きいデメリットがある。すべての工事を総合評価方式で行うことは難しいのではないかと考える。

こんなことが決まりました

12月定例議会では、「栗原市議会のあり方調査特別委員会」〔9ページ参照〕で2年前から調査・研究してきた、期末手当の加算や費用弁償の結果報告を受け、議会議員の費用弁償や期末手当に関する条例の一部を改正するとともに、放置自動車の撤去や処分が可能な条例を制定しました。

また、エポカ21、くりはら斎苑などの公共施設の指定管理者を決定しました。

期末手当15%加算

市長、副市長、教育長、病院事業管理者および議会議員の期末手当（ボーナス相当）は、国の人事院の勧告に基づき「特別職の給与

に関する法律」の改正により決定しています。

今回、期末手当の支給月数が年0・05月分を引き上げる法律が改正されたこと

に伴い、議会議員も同様に0・05月分を引き上げることになりました。

（令和元年12月1日施行）

また、市長や県内のほとんどの市の議員と同様に期末手当を15%加算するとともに、交通費に当たる「費用弁償」は、職員の旅費と同様の1キロ当たり40円にしました。

（令和2年4月1日施行）

厳格化する 区長の身分

令和2年4月1日から、行政区長の身分や職務が条例により、特別職の非常勤職員に位置づけられ、「地域住民の意見を聴取し、意見の結果に基づき、市長へ助言などを行うことができる」とされ、職務や任期、報酬などが厳格化されます。これまでの職務としていた、各種の通知などの配布業務は引き継がれます。

放置 自動車

撤去命令や処分が可能

市有地などに自動車放置されないよう、良好な都市環境の形成と市民の安全で快適な生活環境の保全を図るため、市の責務を次のように規定しました。

放置自動車の発生の防止に向け、市有地に放置された自動車への対応は、「調査」、「移動」、「保管」

「撤去命令」、「処分」、「費用請求」などができることになります。

現在、市有地に無断で長期にわたり駐車している自動車は、くりこま高原駅の駐車場に6台確認されています。

この条例は、新たに制定しました。

「市の施設」 管理者決まる

民間に市施設の管理・運営を任せました。

くりはら交流プラザ （エポカ21）

管理者 くりはら振興株式会社

期間 令和2年度から令和4年度まで

管理料 3745万円

管理者 グリーン観光バス株式会社

期間 令和2年度から令和6年度まで

管理料 1億9225万円

管理者 株式会社ゆめぐり

期間 令和2年度から令和4年度まで

管理料 1億3449万円

栗駒総合体育館・野球場
テニスコートなど6施設

管理者 株式会社ダンロップスポーツウェルネス

期間 令和2年度から令和6年度まで

管理料 2億3895万円



市有地に放置状態の自動車



大量の稲わらが持ち込まれる処分場

12月定例議会

補正予算

台風19号

稲わら処理費を助成

令和元年10月12日から13日にわたる台風19号の豪雨は市内に甚大な被害をもたらし、住家の床上下浸水や河川の決壊、氾濫・越流などにより、大量の稲わらの堆積、農地や市道の法面崩壊など、被害額は35億6000万円に及んでいます。
12月定例議会では、台風19号の災害復旧費用などを盛り込んだ補正予算が提案され、原案のとおり可決しました。

被害の額35億6000万円

台風19号は10月12日深夜から13日未明にかけて激しい雨が降り、瀬峰泉谷では1時間の降水量が52mmを観測し、最大24時間降水量では264mmが観測されるなど、市内の各地で河川の氾濫などが発生しました。
11月22日現在の被害状況は、負傷者4人、住宅被害は、半壊23世帯、一部損壊および準半壊59世帯、床下浸水41世帯、その他被害48世帯、あわせて171世帯

です。非住宅被害は、床上浸水17件、床下浸水28件、その他被害60件、あわせて105件です。また、農業用施設や公共土木施設などを含め、全体で1688件となったほか、道路133か所が片側、全面通行止めとなるなど、被害額は35億6000万円です。
避難所は、10地区23施設のほか、自主防災組織などでも開設し、1425人が避難しました。

堆積稲わらの処理費用

市は、農家や農業団体および業者などが農地に堆積した稲わらを処分場に運び込むまでの経費や堆肥化による処理予算を次のように決めました。
民間の堆肥製造業者での処理費用1億2500万円
水田、水路、農道に堆積した稲わらの運搬、処分費用 7500万円
水田に堆積した稲わらの撤去費用 5009万円
農地の災害復旧費 2495万円
市道や橋に堆積した稲わらの撤去費用 1000万円

農業振興費に補助金



農作物を囲む電気柵

今回の補正予算において農作物に被害を及ぼす、有害獣対策として、防護設備設置の事業補助金や、農業の担い手づくりに対する、支援補助金を可決しました。
農作物有害獣被害防護設備設置事業補助金 250万円
強い農業・担い手づくり総合支援補助金 186万円

市有地の放置自動車 撤去には条例が必要

総務常任委員会

問 現在、放置自動車は何台あるのか。

答 有料駐車場に2台、無料駐車場に4台の計6台ある。他の市有地にはない。

問 放置自動車は条例を制定しなければ市が撤去できないのか。

答 条例がなければ市が撤去することはできない。現在、所有者が判明しているものについては撤去するよう通知している。

問 市営住宅の駐車場に契約者以外の車が停まっていることがあるがそれも対象となるのか。

答 一時的な駐車は対象とならない。

問 非常勤の特別職から変わる職種の身分保障

身分が非常勤の特別職でなくなる職種(自立相談支援員、自立就労専門員、保健推進員など)は、これまでの日当報酬、保険などの身分保障に違いはあるのか。

答 これまで会議などの出席時には報酬・費用弁償として支払っていたが、報償費として支払う。また、保険は公務災害補償ではなく、市の総合賠償保険などに対応する。

問 市の総合賠償保険の補償を受けられるのか。

答 は、これまでと同様の補償内容が足りないところがある。民間の傷害保険とあわせて従来と大きな差がない補償となるよう検討している。

問 台風19号の災害支援浸水した保管米は

県全体が激甚災害として指定されているが、栗原市では浸水した保管米が支援対象にならない理由は何か。大崎市では対象としている。

答 大崎市では河川が決壊して浸水したものであり、栗原市では要件に合うものがなかった。該当するものがあれば対応していきたい。

ハイルザーム栗駒など 指定管理の期間は

産業建設常任委員会

問 令和2年度からの指定管理で、指定の期間が3年とのことだが短いのではないのか。

答 (株)ゆめぐり以外の第3セクターで管理している指定管理施設もある。今後3年間で第3セクターのあり方を検討することにしたため、他の指定管理施設と調整し、指定管理の期間を3年とした。

問 台風第19号農業災害対策利子補給補助金の内容は

貸付残高に対し1・175%の利子補給

答 今回の災害資金は基準金利を1・35%と定め、利子補給は県が1%、市が0・175%である。JAから融資を受け

る場合は、JAが0・175%を負担するため農業者の負担は0%となる。

問 築館地区の除雪グレーダーの更新は

交付金の配当がななく除雪グレーダーの購入を断念することだが、現在所有のグレーダーは、いつ購入し使用可能であるのか。

答 昭和61年に購入した機械である。現在も使える状態であり、既に車検整備は終了している。



株ゆめぐりが指定管理者となるハイルザーム栗駒

くりはら斎苑 施設の修繕対応は

文教民生常任委員会

問 くりはら斎苑について、施設の老朽化の状況はどうか。

答 平成13年に設置した施設で18年が経過しており、定期的に修繕を行っている。特に4つある火葬炉は、点検で消耗具合を確認しながら、毎年約700万円をかけて部分的な修繕を行っている。その他の設備も指定管理者から毎月報告があり、状況を確認しながら対応している。

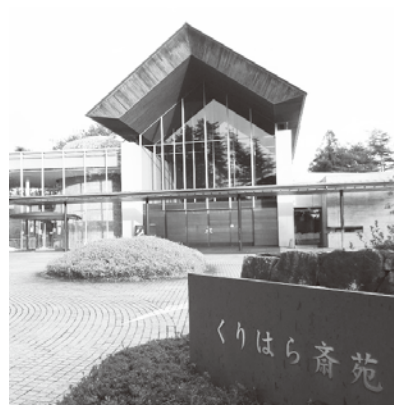
問 築館陸上競技場改修工事の内容は

築館陸上競技場を改修する実施設計業

答 病床数の適正化や各病院の機能分担の更なる明確化を行わず、今までどおりに運営していけば、毎年同程度の赤字は発生するものと考えられる。

問 病院事業の累積欠損金が増えていく状況だが、どのような危機感を持っているのか。

答 病床数の適正化や各病院の機能分担の更なる明確化を行わず、今までどおりに運営していけば、毎年同程度の赤字は発生するものと考えられる。



設置から18年のくりはら斎苑

前に進む議会改革

議会のあり方調査特別委員会

これまでの議会活動を検証し、今後の議会のあり方を分科会を中心に調査・研究を重ねてきました。調査の結果を報告します。

議員定数・ICT化分科会

議員定数

議会のICT化

議員報酬分科会

議員報酬

出席費用弁償
政務活動費

議会運営分科会

議会基本条例

議会運営の諸課題

調査の結果

①議員定数は2人減とし24人とする。
②ノートパソコンおよび

スマートフォンおよび

スマートフォンの議場などへの持ち込みは許可する。
③議会議員の報酬は妥当であり、期末手当の支給割合は、市長と同様とすべき。また、議会議員の報酬額は、市の「特別職報酬等審議会」で審議すべきである。
④議会議員が会議などに出席した場合は、市職員の車賃額に準じた交通費の実費相当額を支給する。
⑤政務活動費の使い道は会派代表者会議などで再検

討が必要である。
⑥議会議員の期末手当の加算措置は、市長などと同様に支給すべきである。
⑦「広報編集調査特別委員会」は、常任委員会に移行する検討が必要である。また、「議会報告会」の参加者を増やす方策を検討すべきである。
⑧代表質問は、現状のとおり2月定例議会で実施。
⑨議場内への飲料水の持ち込みは禁止しないが、会議中の飲食を禁止する。
⑩議員の会議出席状況は議会だよりおよびホームページでは公表しない。
⑪一般質問に対する答弁書の配布は、現状より早まるよう要請すべきである。
⑫予算・決算の審査方法は、分科会方式を取り入れず、委員全員による審査とする。

⑬議会モニター制度を導入した場合の効果や影響を十分に考慮しながら検討を続けていくべきである。
⑭議会議員の作業服などの被服は、市が貸与するべきである。



議会改革を全員で協議

討論

期末手当の加算や費用弁償に関する議案（記事6ページ）に対して賛成・反対の意見がありました。

反対

菅原 勇喜 議員

議員報酬の年間総額は613万5300円で14市中8番目である。期末手当引き上げで2万50円、15%加算で19万8495円、合計21万8545円の引き上げとなり、14市中6番目となる。市民平均所得が14市中14番目であり、引き上げに反対する。

賛成

三浦 善浩 議員

今回の改正は、議会のあり方調査特別委員会において、十分議論された結果、委員長報告の通り提案された、期末手当の15%加算、車賃の実費弁償および人事院勧告による期末手当の引き上げである。以上のことから、委員長報告を尊重し賛成する。

議員の採決表（発議第7号 栗原市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について）

議員氏名 議案番号	議決結果	採 決 結 果																								
		佐藤 庄喜	小野 久一	澤邊 幸浩	佐藤 千昭	佐藤 範男	鹿野 芳幸	高橋 勝男	高橋 義雄	五十嵐 勇	石川 正運	高橋 涉	三塚 東	沼倉 猛	高橋 将	佐藤 悟	三浦 善浩	菅原 勇喜	佐藤 文男	相馬 勝義	濁沼 一孝	佐藤 勇	佐々木嘉郎	阿部 貞光	佐藤 久義	
発議第7号	可決	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-

※ 「賛」⇒賛成した議員、「反」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席、「-」⇒議長のため表決に加わらない

先進地に学ぶ



総務 夕張市・財政再生計画に関する調査

10/23 ~ 25



夕張市にて、財政再生計画に関する調査

地域に根ざした
廃校の利活用

北海道栗山町では、豊富な自然資源を生かし、自然体験活動を中心とした「ふるさと教育」という教育活動が推進されています。「雨煙別小

北海道夕張市を調査し、安定した財政運営のあり方を学びました。夕張市は、平成18年に巨額の赤字を抱え財政破綻。夕張市の財政悪化の要因は「観光施設への過大投資・不適切な財務会計処理など」と説明を受けました。これは当局側の責任だけではなく、チェック機能としての議会の責任も問われるものです。

調査の結果

栗原市においてもより一層健全な財政運営と、チェック機能として議会の重要性をより強く実感する機会となりました。

調査の結果

本市においても、行政と市民が協働する地域に根ざした利活用など、活用の方性の検討に工夫が必要であると考えます。

産業建設 中山間地域の農業の持続可能性を調査

11/13 ~ 15



梶原町のジビエカー

(株)フードハブ・プロジェクトを設立した徳島県神山町を調査しました。大量生産、大量消費を前提にした従来の営農形態だけでは、農業の持続可能性を損ねると危惧し、アメリカの「フードハブ」を糸口に、少量生産と少量消費をつなぐ地域内経済を循環させる仕組みを実践していました。

有害獣のジビエ利用

高知県梶原町では、平成29年度にジビエカー（移动式解体処理車）を導入、併せて獣肉解体処理施設を整備しました。平成30年にはNPO法人を設立、食肉処理業も取得し運用を開始しています。ジビエは鮮度が重要で、施設に近い場所は猟友会員が直接搬入し、遠い場所はジビエカーで出向き処理を行っています。年を追うごとに捕獲個体がい

さくかなり、ジビエの利
用拡大で一定の効果が
現れていました。

調査の結果

現在、本市は放射能の影響でジビエ利用は困難ですが、出荷制限解除を視野に入れ、処理方法の選択肢として検討する必要があります。

文教民生

一体的に提供する
介護予防と買い物支援

11/19~21



幸せます健康くらの調査

本市とは医療提供体制に違いはありますが学ぶべきところが多く、本市でも市民・病院・議会・行政が一体となって地域医療を支える体制づくりが必要です。

山口県防府市の向島地域で実施している「幸せます健康くらぶ」は、行政、地域住民、社会福祉法人、介護事業所が協働し、要支援者を主な対象として、介護予防と買い物支援を一体的に提供している事業です。地域内をバスが周る市内の大型店舗まで送迎し、皆で体操をした後、食事、買い物を行っています。

調査の結果

本市でも各地域で「くりはら元気アップ体操」など介護予防の取り組みが普及し、その効果を期待するとともに、防府市のような「移動支援」との組み合わせなどとも参考としながら、継続して楽しく活動できることで元気な高齢者を増やす工夫が必要です。

地域医療を守る
取り組み

島根県益田市では、圏域の病院勤務医師数が大幅に減少し、疲弊した医師が離れていく悪循環に陥っていたことから、「益田の医療を守る市民の会」が設立されるとともに、市は地域医療対策室を設置し、医師を「支える」「招く」「育てる」ための各種の取り組みを展開しています。

調査の結果

新潟県上越市議会では、地域で活動する団体や様々な立場の方から意見を聞くため、テーマを設定のうえ、特定の団体など意見交換を行う「各層との意見交換会」を実施しています。各常任委員会でテーマと団体を決定し、対面方式に限らず、時にはグループワーク形式などで意見交換を行い、聴取した意見は各委員会の取り組みや一般質問などに活かしています。これまで対象とした団体は数多く、各分野の行政課題などについて、活発な意見交換がされるよう工夫していました。本市議会でも議



上越市議会の取り組みを調査

議会運営

各層との意見交換会など
先進的な取り組みを調査

11/6~7

議会で活用
タブレット端末

上越市議会では、議会議論の深化、市民との情報共有、議会情報や資料の迅速な共有などを目的に、タブレット端末を活用しています。操作が苦手な議員も非常に便利であり、積極的に使っていて覚えようとする姿勢が大切であるとアドバイスをいただきました。導入する場合、会議での効果的な使用方法、紙資料の削減化など様々な面の考慮が必要ですが、将来的に必要なツールとして、タブレット端末の活用を研究していくべきです。

所管事務調査

令和元年産米の生産状況と
有害鳥獣の実態を調査

産業建設

10/24



捕獲わなの設置状況を視察

新みやぎ農協栗っこ管内の集荷及び作柄状況について調査しました。10月21日現在で管内倉庫に集荷されたうるち米の1等米比率は55・5%で、特にひとめぼれの1等米比率が低い状況でした。品質低下を招いた原因は、8月上旬の出穂期に高温が続いたことで、令和2年産米の作付けに向けては、新みやぎ農協と連携を図りながら、品

質向上に努めた栽培指導の徹底を推進していく必要があると考えます。「有害鳥獣の実態に関する調査」有害鳥獣の出没は、平成28年度以降イノシシの増加が顕著であり、それに伴い捕獲頭数および電気柵などの補助金の交付も増加しています。捕獲の任にあたる栗原市鳥獣被害対策実施隊では、捕獲後の処理に苦慮している状況にあります。

イノシシを始めとした有害鳥獣は、人口減少や耕作放棄地の増加に伴い今後増加の一途をたどると考えられることから、処理方法の検討も含め早急に有害鳥獣の処理施設を設置するべきであります。

一般質問

ここがききたい

12月定例議会では、17人の議員が登壇し、台風19号の稲わら処理などの質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して、お知らせします。

甚大な被害に見舞金支給せよ

市長／災害見舞金支給要綱を適用する



さとう 悟 議員

議員 台風19号の最大雨量は、瀬峰で264ミリ、高清水で258ミリを記録。築館荒川の堤防決壊、築館・栗駒の芋塚川、瀬峰の小山田



台風19号で完全に水没してしまった農道

川などの大洪水で住家・非住家浸水、水田の冠水、稲わら流出など甚大な被害を被った、次の点を伺う。

- ①罹災・被災証明書の件数
- ②床上・床下浸水の棟数
- ③市独自の見舞金の支給
- ④流出稲わらの対応
- ⑤災害復旧事業の見直し

市長 ①発行は、罹災64通被災214通。

②浸水は、住家床上22棟・床下63棟、非住家床上17棟・床下28棟。

③災害見舞金は、住家全壊・全焼・流出10万円、大規模半壊5万円、半壊・半焼・床上浸水3万円、死亡30万円、入院30日以上5万円。

④流出稲わらは、圃場などに堆積計3626・4立方メートルで、処理施設への搬入期間は、柔軟に対応する。

⑤農地・農業用施設328国・県道7、市道・農道344か所、測量設計次第発注、補助災害は、査定後発注する。年度内に契約締結し、早期完成を目指す。

議員 3つの迫川の河川整備、金成大原木地内の堤防構築の現状と対策はどうか。

市長 荒川の築堤、照越川の護岸工事を進めている。堤防整備は、平成27年計画され、優先性を考慮し実施と聞いている。国や県に要望を行っている。

災害対応の現在の状況は

市長／堆肥の処理など早急に進めている



相馬 勝義 議員

議員 災害で堆積した稲わらの処理が課題。現在の状況はどうか。

市長 畜産農家と連携した堆肥などへの利用をお知らせし、協力を依頼。11月18日から処理施設のアグリテック宮城に運搬いただき



稲わらの懸命な処理が行われている

堆肥への処理をしている。**議員** 今後、福祉避難所が必要になってくると思う。どのように考えているか。

市長 内閣府より示された「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」でも、設置を求められている。市としても、社会福祉法人4事業所と開設に向けて協議を進めている。

新グラウンドの対策状況は

議員 築館高校野球部グラウンド整備に伴う協議内容と整備対策の状況は。また9月の豪雨で冠水した、渋川一帯の排水対策は。

市長 県教育委員会との協議、調整を継続していく。排水対策についても、排水流域の土地利用や、浸水被害の要因分析を実施している。また、公園整備とともに効果的なアクセスを確保できるように、検討している。

市の奨学金制度について

議員 東北職業能力開発大学の学生の市内企業への就職および居住を条件としての奨学金返済の免除・軽減・猶予の措置を要望する。**教育長** 市が実施している企業への雇用促進制度などの人材確保の支援策を踏まえながら、他の自治体の先進例を参考に、調査・研究したい。

「宮城県南北ダービー」その目的は

市長／両市の魅力向上とさらなる発展期待



佐藤 千昭 議員



手渡された挑戦状

議員 白石市との、「宮城県南北ダービー」に取り組んだ経緯を伺う。

市長 高速交通網を活かした企業誘致や子育て支援自然環境、観光振興など取り組みの方向性も類似している。また、人口減少や過疎化など共通の課題もある。今後さらに飛躍発展していくためには両市がお互い切磋琢磨しながら競い合っていくのが有効と考えた。

議員 市の活性化に向けて

どんな期待をしているか。**市長** 優れている点を参考に、業務改善が図られることや、職員のレベルアップおよびモチベーションの向上なども期待でき、両市の魅力向上とさらなる発展につながることを期待している。

議員 第一弾でふるさと納税を選んだ理由を伺う。

市長 各種政策に対して両市のファンや支援者を増やしていくことが有効なことでと地場産品による魅力の発信も行える制度である。

森林経営管理制度がスタートしたが

議員 制度発足に伴う、経営計画作成のメリットは。

市長 荒廃した森林の解消や伐採後の再造林が促進され、土砂災害などのリスクが減り、市民の安全・安心に寄与する制度である。

議員 市内の広大な森林の経営管理集積計画の策定には、森林・林業に関する一定の知識を有する人材が必要と思う。その対応は。

市長 現在専門的知識を有する人材の確保・配置に向けて取り組みをしている。

○有害獣被害対策も質問

台風被害への対応は万全か

市長／営農に支障がないよう 今年度中に処理



あべ 貞光 議員



河川災害の早期復旧を

議員 台風19号により水路や道路に堆積した稲わらは、市が処理することになるが状況把握・処理スケジュールは、また、河川決壊により農地に流入した土砂撤去はどこで行うのか。

市長 堆積状況は各総合支所や土地改良区などと連携し現地確認しており95か所を把握している。業者との協議を進め営農に支障がないよう今年度中に処理を終える予定としている。また農地に流入した土砂は農地災害復旧事業で、市が撤去

と客土を行う計画で査定を受ける事になっている。

議員 被災個所の復旧スケジュールと、同規模の災害に備えた復旧になるか。また、冠水により稼働できなかった排水機場の復旧は、

市長 補助災害140か所単独災害515か所、合計で655か所となっている。単独災害は測量設計業務が完了し次第復旧工事を順次発注していくが補助災害については12月9日から年末まで災害査定が予定されており、事務手続き後の発注となる。復旧方法については現状で原型復旧が原則となる。また、排水機場の復旧は県全体の災害査定方針として、電気設備の高上げを行い浸水に備えた方法による復旧を検討している。

議員 照越川は河川改修の用地買収が行われている現状にあり、全面着手と決壊箇所への復旧工法を聞く。

市長 照越川を管理する県では平成29年度から局部改良に着手し引き続き実施していく。また、決壊した2か所は堤防の盛土とコンクリートブロック護岸による復旧を検討している。

と客土を行う計画で査定を受ける事になっている。

台風19号の被害対策に万全を

市長／全力で対応している



たけし 猛 議員

ねていく③流入稲わらの処理は3288立方メートルが搬入されている。④搬入期限の延長は柔軟に対応する。

医療の抑制にならないか

議員 ①被災証明・罹災証明の発行数②被災者支援の周知は十分か③流入稲わらの処理状況は④稲わらの受け入れ期限の延長を考えよ。

市長 ①被災証明が214通、罹災証明は64通である②市民への周知は検討を重

議員 被保護者健康管理支援事業は生保者に後発医薬品の使用を勧めたり保健指導を強めるものだ。受診の自己抑制につながるのでは。

市長 生活習慣病や重症化予防などが目的であり受診



台風19号水害

抑制はないと認識している。

会計年度任用職員制度は

議員 来年度から臨時職員や非常勤職員は会計年度任用職員になるがどう変わるか、また行政区長の身分は、

市長 職務年数を考慮して給料報酬が決定され期末手当も支給される。

行政区長の身分は「地域住民の聴取などは特別職非常勤職員であり、文書配布業務は私人として委嘱する」

スクールバス停へ駐輪場を

議員 スクールバス乗降場で生徒の自転車風雨にさらされているが駐輪場が必要では。

教育長 高清水地区から南中への生徒数は75人でバスが73人、保護者の送迎が2人である。乗降場へ駐輪場を設置する予定はない。

決壊による稲わらの処理は

市長／市道排水路は市で、圃場は農家処理対応を



議員 庄喜 喜 市道 排水路の堆積は市で対応。圃場は各農家へ収集運搬をお願いする。補助は1平方メートルあたり5000円。業者委託は5000円を超えた金額の50%を市独自支援の補助。国の支援策のため補助金の上限や減額は無い。

議員 荒川、照越川の決壊による災害処理と今後の減災構築について①被災稲わらが側溝、土手、圃場に大規模堆積されており、市での処理は、②農家個人で処理する域を超える膨大な量である。補助は全額支払い



照越川決壊と荒川越水による稲わら大規模堆積

か、また上限はあるのか。

市長 ①市道、用水路の堆積は市で対応。圃場は各農家へ収集運搬をお願いする。補助は1平方メートルあたり5000円。業者委託は5000

0円を超えた金額の50%を市独自支援の補助。②国の支援策のため補助金の上限や減額は無い。

議員 荒川、照越川の決壊による土砂の撤去は、**市長** 農地に流入した土砂の撤去は公共施設の災害に

起因。農地など、災害復旧事業として市が復旧する。

議員 加倉地区の新幹線高架から約300坪の荒川上流は堤防が低く越水対策は、**市長** 県との栗原地域建設行政連絡会議でもかさ上げ

のなど対策を要望していく。**議員** 川砂除去、樹木伐採に關し総務省が創設する財政支援で、荒川、照越川も取り組むよう県と交渉すべきと考えるが。

市長 昨年の西日本豪雨今年の台風で河川氾濫発生国の財政支援策を活用し堆積土砂撤去、支障木伐採をして頂くよう県に要望。**議員** くりこま高原停車場線の植栽管理について今後の対応はどうか。

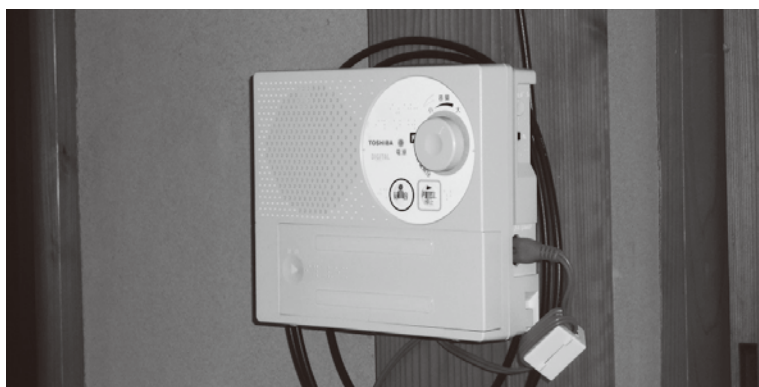
市長 県は、除草、剪定作業を実施しているが適正に管理し道路環境の美化に努めるとのこと。市の玄関口であり県に要請する。

防災行政無線の每户設置を図れ

市長／戸別受信機の每户配布に向けて検討する



議員 幸浩 市道 排水路の堆積は市で対応。圃場は各農家へ収集運搬をお願いする。補助は1平方メートルあたり5000円。業者委託は5000円を超えた金額の50%を市独自支援の補助。国の支援策のため補助金の上限や減額は無い。



防災行政無線の每户設置を

議員 甚大な自然災害に対する防災行動のためにも、防災行政無線の戸別受信機每户設置が必要不可欠と思うが、市の見解を問う。

市長 現在国では、必要最小限の機能を備えた安価な機種の開発に向けて、関係事業者と協議を行っているとの情報もあり、今後の国の動向を注視して検討して行く。

議員 学府くりはら塾の名称で、中学校・高等学校合

同学習会が開催されていたが、今年度は実施が見送られている。このような中学校・高等学校連携の学習会の開催は、大変貴重な機会でもあり、実施していくべきと思うがその見解を問う。

教育長 中学生と高校生が共に学ぶ機会は、貴重な機会ではあるが、市内の各高校においても、学校独自の講習やゼミなどが実施されており、市が主体的に行う合同学習会の実施は難しいものと考えます。

議員 トイレの洋式化が一般化する中で、市内の公共施設においても、トイレの洋式化改修について、その実施における見解を問う。

市長 トイレの洋式化改修について、下水道や浄化槽の条件が整っている施設から検討して行く。

議員 栗原市においても不祥事などが報道され、これでは子どもたちに規範を示せない。栗原は市民宣言として、「子どもたちに規範を示す栗原市民宣言」を提唱するべきと思うが市長の見解を問う。

市長 市民宣言の先進事例を研究して検討して行く。

くりはら市議会だより 第63号



いしかわ しょうぶん
石川 正運 議員

大雨で流出した稲わら処理を問う

市長／営農に支障がないよう進めていく



膨大に集まった稲わら処理

議員 台風19号で浸水冠水圃場の面積と稲わらの量と堆積の量が多く処理の困難な箇所は。

市長 面積は3000畝で量は把握できない。堆積の多い場所は26か所を確認している。

議員 大量に流入した稲わらの処理対策は。

市長 市の追加支援策は業者に委託して撤去した際その経費が1立方メートルあたり5000円を超えた場合

超過した経費の2分の1を支援する。

議員 用排水路および排水機場のプール、土手、堤防に堆積した稲わら、土砂の撤去は。

市長 稲わら、土砂については順次営農に支障がでないように進めていく。

議員 太田排水機場は大雨の度に水没し稼働不能になっている。プールを設置し移設すべきではないか。

市長 電気設備高上げを行っている浸水に備えた復旧を検討している。プール設置については十分考慮しながら県に要望していく。

なぜいま開催「道の駅」懇談会

議員 道の駅市民懇談会を市内5か所で行ったがその目的は何か。

市長 市民の意見、アイデア、ニーズや出店候補者などを把握する目的のため開催した。

議員 懇談会では若い世代の方の出席も多く、具体的な希望、要望が多いと感じたがどう反映していくのか。

市長 若い方々の意見を基本構想策定へ生かしていく。

「キッズゾーン」の設置を

市長／関係機関と連携し検討



みづ よしひろ
三浦 善浩 議員



保育施設の周辺に必要な「キッズゾーン」

議員 ①保育施設（幼稚園・保育所）の周辺道路（散歩コースなど）に、警察などと協議して「キッズゾーン」を設置してはどうか。

市長 ①関係機関と連携し実際に即した適切な設定が

できるよう検討していく。

常に備えよ 災害対策

議員 今年、台風19号という大規模な災害に見舞われた。近年の異常気象に伴い、毎年のように大雨災害が全国どこかで起きている。①避難所では雑魚寝の状態であったが、段ボール製の簡易ベッドやパーティションを用意すべきではないか。②市内の介護施設で

は、利用者の災害時の避難体制が整っているのか。③『避難所が開設されたけれども、移動手段をもっていない高齢者は、どうすればいいのか。』という声が寄せられた。このような時市ではどう対応するのか。

市長 ①県内の段ボール製造業者と協議を行い、協定締結に向け打ち合わせる。②各事業所に対して、避難体制の整備などに万全を期すように指導する。③行政、区長や民生委員の方にご協力をいただいている。さらに自主防災組織と連携するなど、お願いをしている。

再接種の費用一部助成を

議員 小児がんの治療を終えた20歳未満の市民に、予防接種を再接種する費用の一部を助成してはどうか。

市長 助成制度の実施に向けて、前向きに検討する。

「市道栗原辻前線」結論を示せ

市長／総合計画掲載事業は重く扱う



議員 小 野 範 男
さとう 佐藤

ベルで協議、計画変更の場合が期間が一年以上となり農家負担も生じ、受益者の同意は困難と判断した。

議員 これまでの、一連の答弁を整理して、どのように感じたか。

議員 いよいよ、県営ほ場整備事業「稲屋敷・袋地区」の面工事が開始された。同地区の農道の拡幅について、市長答弁の「早急な県協議」は、いつ行ったか。

市長 「市道栗原辻前線」整備事業は、旧栗駒町から引き継いだ重点事業である。国道4号への接続を含めた構想は、延長が9キロメートルに及ぶ大事業で、総合

計画に位置づけた事業だが判断が難しい中での答弁であり、再検討が必要だ。

議員 平成29年4月、鶯沢と栗駒の関係行政区長と地域代表が、ほ場整備での農道拡幅の要望書を提出したが、どう認識しているか。

市長 要望へは、「北側には国道457号、南側には市道鳥巡祝田線と、幹線道路網は既に形成済みで、あくまで農業用道路として認識」などと回答している。

議員 前市長は、絶対必要な事業として総合計画に掲載した。今、ほ場整備に至った段階で、「市道栗原辻前線」整備事業を否定する理由を、あれこれとあげつつう事は理解できない。こうしたことを平気でやれば市民への大きな裏切りだ。地域間のバランスに欠け「政争のまち」へと惹き起される懸念がぬげえない。

市長 総合計画の掲載事業であり、重く受け止める。



重機の轟音と共に面工事が進む

市民の声

市長／市民の声に耳を傾け実施



議員 片 津 孝 一
にぎりぬま 濁 沼



請願が採択された上田線

議員 上田山牧野に計画された汚染牧草堆肥処理施設多くの市民は白紙になったと理解していたが、ならない理由はなぜか。

市長 市民の皆様を理解を得られないので別の建設場所を検討中である。

議員 市道上田線、請願で採択された路線である。早急に整備すべきと思うが見解を聞く。

議員 上田山牧野に計画された汚染牧草堆肥処理施設多くの市民は白紙になったと理解していたが、ならない理由はなぜか。

議員 若柳大林地内の東北新幹線の高架橋から迫川堤防までの間のU字溝に土砂が堆積し、排水が非常に悪い。早急に整備すべきと思うが見解を聞く。

市長 市民生活に支障を来たさぬようこの排水対策を確認し、改善していく。

議員 道路照明灯や防犯灯の設置・生活道路の整備など軽微な事業を優先して実施してほしいと思うが見解を聞きたい。

市長 市民からの声に耳を傾けながら道路照明灯や防犯灯の設置・生活道路の整備を実施していく。

台風19号 自主防災組織の機能強化を 市長／自主防代表者会議で確認と検証



たか 高橋 かつ お 勝男 議員

議員 台風19号による避難所の開設、避難勧告後の市の対応は。

市長 高齢者などの避難は区長や民生委員にお願いした。自主防災組織の代表者には、高齢者の一人暮らしや高齢者世帯に避難の呼びかけを行った。

議員 自主防災組織の活動内容を把握しているのか。

市長 避難行動要支援者に声をかけた。自力避難が困難な方を避難所まで連れ



自主防災組織の訓練の様子

て行ったなど一部地域の事は伺っている。今後、代表者会議を開催し、今回の台風における避難状況の確認と検証を行う。

議員 市内の自主防災組織の訓練実績はどうか。

市長 252組織中、平成29年は73回、平成30年は86回となっている。

議員 訓練回数が少ないのではないかと、自然災害が多発する中、自主防災組織の活動強化が必要と思うが。

市長 将来的には、防災指導員を中心とした組織として自立するよう支援していく。

議員 栗原市立3病院の位置づけと、今後の対応は。

病院管理者 今後出てくるコンサル案を基に、一般病床の縮小や地域包括ケア病床への機能転換など、市立病院・診療所の機能分担病床数の適正化などを図っていききたい。

議員 機能分担や病床数の適正化実施時期を令和3年10月としているが、市民の声を大切にしてほしい。

病院管理者 市立病院や診療所の方向性を出した上で令和2年度中には、説明会を実施する予定である。

大土ヶ森登山道の管理徹底を

市長／今年度は草刈実施せず



さとう ふみ お 文男 議員

議員 大土ヶ森は鶯沢地区と文字地区の間にある580坪の低山で、栗駒山の南に位置し、大土ヶ森・中ノ森・櫃ヶ森の「文字三山」として存在感を示し、見る場所によっては「文字富士」と呼ばれ美しい姿を見せている。

登山道は沢沿いの溪流コースと中央コースがあり山頂手前の急勾配は熊落とし坂、鼻こすり坂などロープを頼りに登るところが続き山頂に至る。

登山道から約2・4キロ約90分で登れる変化に富んだ山で、初級から中級まで味わえる大土ヶ森の魅力を発信する観点から以下の点



見通しのきかない頂上付近

についてはどうか。

議員 合併後の登山道の管理はどうなっているか。

市長 鶯沢総合支所と若柳警察署が合同で登山道調査を行っている。

議員 今年は登山道の草刈りはしていないように見受けられたが、毎年草刈りをするべきと思うがどうか。

市長 草刈りは、今年度の登山に支障がないことから実施しなかった。今後も調査の上対応していく。

議員 途中の観察広場にある東屋は、強風によるものが横になったままである。今後どうするつもりか。

市長 東屋は27年に倒れたものと思うが、今後撤去する方向で検討している。

◎その他の質問

- 県立高校にエアコン設置を求めよ
- 一迫商業高校野球部室内練習場の活用を
- 商店街街路灯の総点検を

メガソーラー設置を規制する条例の制定を

市長／国・県の動向を注視し 調査研究



おの ぎゅういち 議員
小野 久一

議員 栗原市では関東・東北豪雨、今年の台風19号で河川の堤防が決壊し大きな被害がでた。現在のメガソーラーの設置状況を見ると河川流域に住んでいる住民は益々洪水の恐怖にさら

される。市内におけるメガソーラーの設置場所と今後計画されているものを示せ。
市長 築館3、栗駒4、高清水6など全部で19か所にある。今後は築館2、栗駒4、鶯沢1など10か所に計画されている。

市長 県では林地開発許可申請があつた場合、市の意見を求められることから市では関係部署で現地確認の上、必要な意見や要望を付して県に回答している。
住民への説明不足に起因する事案が発生していることから県は太陽光発電施設



大規模太陽光発電のパネル(築館地区)

市長 県は昨年水門・排水機場を設置する案と金生川に必要な堤防高を確保する案で検討の結果、後者の計画で進めると聞いている。

河川整備と水害防止対策を急げ

議員 栗駒泉沢地区は二道川の堤防が強化・かさ上げされるほど金生川を逆流しての水害の恐怖にさらされている。右岸に堤防を造り排水機場の設置が必要でないか。

県医療支援事業へ申請経緯は

病院事業管理者／市計画と事業目的の一致



たかはし すすむ 議員
高橋 将



持続可能な開発目標 -SDGs-

議員 ①県地域医療構想推進支援事業の経緯は②市のコンサル委託との違いは③提示される案はどう活用するか④市民への周知や理解をどう深めるのか
病院管理者 ①経営改善を目的に市でコンサル委託予定だったが、目的が一致しており申請した。②委託経費が全額県負担となり委託期間も短い。③令和7年までとそれ以降の案が2つ以上示される。令和11年まで

各年度の収支予測も示される重要な資料となり、内容をもとに病院機能の変更や病床数の適正化など検討に活用する。④令和2年度に市民と意見交換を行う予定。広報誌を活用し経営状況など情報発信を行なっている。

SDGsの取り組みを急げ

議員 ①導入の議論は進んでいるか②後期総合計画策定前に市民と運用行い計画策定にノウハウ活かしては。
市長 ①職員がSDGsを意識して業務する必要があると考へ今年度内の研修会実施を進めている。②そのように認識している。

文化財の管理体制は適正か

議員 ①市指定登録文化財の価値を保つため指定後のチェックなど適正管理が必要では②文化財の価値判断が未定の状況で文化財を撤去するのは適正ではない。
管理体制を改善すべき。
教育長 ①早急に対応する②今後は事業担当課と連携を密に管理徹底を図る。

危機管理体制を充実せよ

市長／庁議を重ね万全を期す



ささき よしろう
佐々木 嘉郎 議員



膨大な量の稲わらに茫然とする人たち

議員 台風19号は10月12日から13日にかけて雨が猛烈に降り、瀬峰泉谷で264ミ、高清水で258ミだった。泉谷では1時間雨量が52ミで滝のように降った。12日午前11時30分に災害対策本部を設置、13日午後3時に早々と廃止した。混乱や弊害はなかったか。

市長 栗原市地域防災計画に基づき、職員配備体制の縮小を行った。混乱はなかった。

議員 最初の災害状況報告では、被害は262か所だった。第20号報告では1400か所以上だ。今後の災害対策には万全を期してほしい。

市長 今回の台風被害の状況、対応について庁内でさらに議論していく。

議員 洪水ハザードマップに、浸水深を表示して、早期の避難行動をとってもらう工夫をするべきでは。

市長 次のハザードマップ更新時に県と協議し、表記したい。

議員 市民がわかりやすいハザードマップをつくるべきだ。瀬峰駅前浸水経験があるのに着色表記されていない。

市長 支流や内水による氾濫も反映していきたい。

議員 ハザードマップ表紙に、想定雨量が462ミと表記してほしい。

市長 わかりやすくする。

議員 瀬峰小学校舎の雨漏り、栗原南中学校舎の老朽化が心配だ。

教育長 雨漏りの調査をし早急に修繕する。南中の校舎は具体的に検討し、大規模改修する。

「桜を見る会」市長の見解は

市長／市の表彰名簿の保管は30年



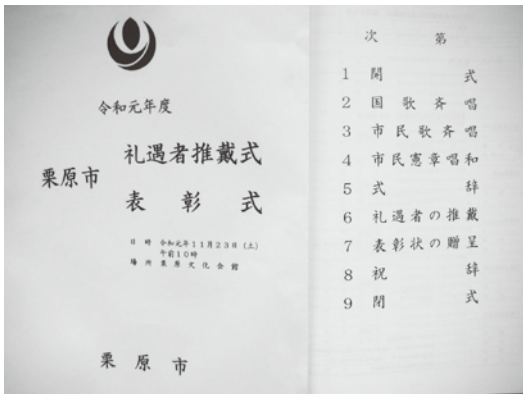
すがわら ゆき
菅原 勇喜 議員

議員 安倍総理主催の今年の「桜を見る会」が予算の3倍を超える5589万7000円使われていた。憲法が定める財政民主主義を無視し、国政を私物化しているのではないか。

市長 国民に不信感や疑念を抱かせるもので大変遺憾に思っている。

議員 招待者の名簿をシュレッダーにかけ処分しているが、市長の見解は。栗原市表彰式名簿、予算執行文書の保存期間は。

市長 招待者名簿は、保存年限を定め適切に管理していくことが大事と考えている。栗原市の表彰式に関する保存期間は30年保存である。予算執行文書は5年保存であり、決算議会前に廃



栗原市の名簿保管は30年

棄することはない。

女川原発2号機 再稼動に反対せよ

議員 3400億円を投じ検査に合格したとして、再稼動に向けて動き出したが汚染稲わら、汚染牧草の処理が収束していない状況での再稼動は絶対に認められない。栗原市が石巻市民1万3000人、女川町民6760人を46施設で受け入れる広域避難計画を作ること自体、事故を前提とするものであり、絶対に認められない。市長は明確に反対の意思表示をせよ。

市長 原子力の単独災害の場合の避難計画であり、複合災害の場合は栗原市も避難を必要とする可能性がある。再稼動は、徹底した安全性の確保と、県民の理解が必要なものと考えており、安全性が確保されない限り、するべきではない。

表彰



たかほし よしお
高橋 義雄 議員

総務大臣から感謝状

令和元年度、総務大臣感謝状の贈呈式において、地方議会議員として、永年地方自治行政に貢献された功績により、高橋義雄議員に贈呈されました。



あべ さだみつ
阿部 貞光 議員

県知事から3人表彰

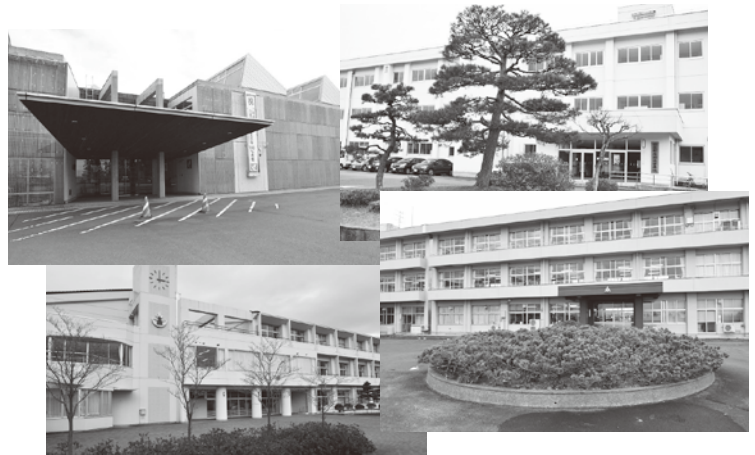
令和元年宮城県「文化の日」の表彰において、多年にわたる議員活動を通じて、地方自治の擁立と住民福祉の向上に尽力された功績により、阿部貞光議員、佐々木嘉郎議員、三塚東議員が、宮城県知事から表彰されました。



ささき よしろう
佐々木 嘉郎 議員



みつおか あきよし
三塚 東 議員



市内にある4校の県立高校

県立高校に エアコンの設置を求める

異常気象や温暖化などの影響により、夏の暑さが厳しくなり、6月や9月に30度を超える真夏日が生じ、熱中症で死亡や緊急搬送の事例が全国で発生している。県内の多くの市町村では、厳しい財政状況の中にあっても、小中学校や幼稚園へのエアコン設置が進められている。よって、宮城県においても県立高校へのエアコン設置を強く要望する。

小・中学校全学年の 少人数学級実施並びに特別支援学級の 基準を8人から6人にすることを求める

教育行政の権限移譲により、県と仙台市はそれぞれの判断で教職員の定数および配置ができるようになった。全国的にも都道府県の独自の取り組みが進み、30人から35人以下学級が実現している。県でも、学級編制弾力化事業を拡大し、小・中学校全学年での少人数学級の実施ならびに特別支援学級の編制基準を8人から6人とすること。

意見書 2件を採択し県へ提出

陳情

12月定例議会に4件の陳情書が提出されました。

火災発生原因による開示に関する陳情
菅原 行政さん

令和2年度税制改正に関する提言について
一般社団法人
宮城県法人会連合会

会長 相澤 博彦さん
ほか 1人

ライドシェア反対、地域公共交通の充実を求める意見書採択の要請
自交総連東北地方連合会
執行委員長 本間 昭さん

宮城県に対し、小・中学校全学年で少人数学級実現等を要請する意見書採択を求める陳情書
ゆきとどいた教育をすすめる栗原市民の会

代表 鈴木 健三さん



好きです！ 栗原

新幹線が停まる。ドアが開きホームを歩き始める。「空気が美味しい！」まばゆい東京から2時間。真逆の栗原は真つ暗で音も無いでも、好きです！

栗原に暮らし始めて20年。私も子どもたちも地域の方々に見守られ一人前に成長しました。越して来たばかりの頃「あんだ、どこっしゃ」と聞かれ、祖父の名前を言えばすぐに分かってもらえました。そんな関係が心地良いのです。大合併により大きな栗原市になり不自由な面もありますが、地域の絆は変わる事なくつないでいきたいと思っています。ここで暮らして良かったと思えるように。

それから 栗原と東京を2時間で結んでくれた先人に感謝申し上げます。



再名生 順子さん
(鶯 沢)

私もひとこと



鈴木 徳昭さん
(金 成)

古希を迎えて

廃校になった大岡小学校の東門を入るとすぐ左手に宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の歌碑がひっそりと置かれています。卒業生の方が自分の人生の支えになった言葉を後輩にと贈られたものです。

一昔前、学校現場でデラシネ(根無草)という言葉が話題になりました。家庭や地域の教育力が弱っているのではという指摘でした。宮沢賢治も東北での豊かな農作物の収穫には肥料が大切だと、若柳や築館などで炭酸石灰を売り歩きました。その時に作ったのが「雨ニモマケズ」です。

豊かな土壌が美しい花を咲かせるように子どもにも豊かな環境が必要ですが、悲しいかな改善されているとは思えません。私は間もなく古希を迎えますが、ただ見守っているだけではと思つこの頃です。

あとかき

令和最初の正月も過ぎ、今年日本にとって、世界の祭典「2020年東京オリンピック・パラリンピック」が開催され、祭典に酔いしれることと思います。しかし、祭りのあとに控えるのは、楽観的なムードだけではないと思います。昭和の五輪後は、日本が高度経済成長に邁進するわけですが、令和の五輪後は、低成長の中で、少子高齢化が抱える課題を如何に解決していけるのか、祭りの喧騒の中も見据えて行きたいと思えます。

澤邊 幸浩

発行責任者

議長 藤久義

広報編集調査特別委員会

- | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 委員長 三塚 東 | 副委員長 高橋 将 | 委員 高橋 幸 | 委員 澤邊 幸 | 委員 佐藤 範 | 委員 五十嵐 勇 | 委員 石川 正 | 委員 藤川 運 | 委員 佐藤 悟 | 委員 佐藤 男 | 委員 佐藤 男 | 委員 佐藤 男 |
|----------|-----------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|